

### 参加者の声

里山林の整備でイノシシ被害が減少  
川手下地区 ● 梶川 進さん

庄原市森づくり事業を活用し、野生鳥獣による農作物被害を防止するバッファゾーンの整備を行いました。集落では、水稲・野菜などへのイノシシ被害に悩まされていましたが、5畝の里山林を整備したことで、確実に被害が減少し喜んでます。

この事業は、山主と田畑所有者とが話し合い、「集落機能の維持・里山景観の保全」という共通認識を持って取り組むことが大切だと思います。



### 森林の伐採には 届け出が必要です

庄原市森林整備計画に基づいて、森林の伐採が適切に行われているか確認するため、伐採をする方は目的、樹種、面積、間伐、主伐を問わず届け出(申請)が義務付けられています。また、同時に森林の大切な働きを失うことのないよう、伐採の跡地への造林計画の届け出も必要です。自分の所有する森林も該当します。

適切な森林伐採を行うことで、健全で豊かな森林をつくりましょう。

詳しくは、農林振興課林業振興係または各支所地域振興室へお問い合わせください。

#### ●届け出対象者

- 伐採をする方。
- 伐採後の造林を行う方が異なる場合は、連名(伐採する方と造林を行う方)。

### 事業の内容は

人工林対策  
〜森の機能を回復させます〜

15年以上手入れがされていないスギ・ヒノキの人工林の間伐などに対して補助を行っています。実際の作業はプロにおまかせ!!

- ①人工林の間伐
  - ②台風や大雪による被害木の片づけ(二次被害を防止します)
  - ③間伐用の作業路の整備  など
- ※人工林の間伐作業には、所有者負担金1万円/鈴が必要ですよ。

### 里山林対策

〜心のよりどころ、里山を美しく〜  
マツや広葉樹などの里山林の手入

2 里山保全活用支援  
里山林の保全活用に関する住民団体やNPO団体などの自らの取り

- ①放置された里山林の除間伐・下草刈り
- ②松くい虫被害による松林の整理
- ③竹林の伐採および整理による繁茂の防止
- ④有害鳥獣の生息の場となっている里山林を整備し、野生鳥獣による農作物被害を防止(バッファゾーン整備)

れ、間伐材の利用、森林・林業体験活動の支援などを実施しています。

### 1 里山林整備

- ①NPO法人七塚自然体験活動研究センターによる里山林整備(七塚町・高原の家)
- ②殿垣内組合による炭窯設置(高野町)
- ③板橋東・西自治会による里山林整備(板橋町)
- ④森林・林業体験活動支援  
森林の機能や林業について学ぶ体験活動に対する支援。  
平成19・20年度では次の団体が事業を実施しています。
- ①NPO法人森のバイオオマス研究会による森づくり体験事業

### 4 間伐材利用対策

- ①バイオオマスフォーラムの開催
- ②木材収集システムの実証実験に関する支援



昨年度からは、広島県で創設された「ひろしまの森づくり県民税」を財源とする「庄原市森づくり事業」に取り組んでいます。この県民税は、県民1人当たり年間500円の負担で、県全体では約10億円となっています。この森づくり事業は、手入れが十分にされていない人工林(スギ、ヒノキ)や里山林(天然林、マツ、広葉樹など)の手入れ(間伐など)を行い、森林の持つ多様な公益的機能を維持しようとするものです。現在、平成21年度の事業実施を希望される森林所有者や団体などを募集しています。ご希望の方は、農林振興課または各支所地域振興室へご相談ください。

# 庄原市 森づくり 事業 参加者 募集!

農林振興課林業振興係 ☎0824-73-1227

## 森の 再生

一緒に森づくりを  
しませんか

- 長年手入れ不足のスギ・ヒノキの森林を所有されている人
- 里山の森や竹林をきれいにしたい自治振興区や集落の人
- 手入れが必要なマツ・広葉樹などの森林を所有されている人
- 森林に興味があり、森づくりに参加したい人

### 森林の多様な 公益的機能とは

- 災害を防ぎます
- 水をたくわえます
- きれいな水を生み出します
- 空気をきれいにします
- 人に安らぎを与えます
- 地球温暖化を防ぎます